

投資先としてのコンゴ民主共和国

- ✔ コンゴ民主共和国 - 多様な可能性と投資機会に恵まれた国
- ✔ 国土土で着実に進められているインフラの再構築と近代化
- ✔ 投資家にとって魅力的な、成長が期待できる経済
- ✔ 豊富で質の高い、手頃な価格の労働力
- ✔ 日々向上する、魅力的で競争力のあるビジネス環境
- ✔ ムーディーズの「B3」を含む格付け機関からコンゴ民主共和国に対する評価の向上により、投資に関連するリスクが軽減
- ✔ アフリカの中心に位置する巨大市場

ビジネス環境の整備と 投資家保護の取り組み

- ✔ 国有化および収用の法的禁止措置
- ✔ 国内投資家と外国投資家に対する平等な待遇
- ✔ 収益の自由な国外送金を保証
- ✔ 既得権の尊重
- ✔ 経済特区に関する法律
- ✔ 起業家精神とスタートアップの促進に関する法令
- ✔ 経済の自由化：保険、電力、水道、鉱業、石油・ガス部門
- ✔ 国庫への納付金支払い制度の合理化
- ✔ 投資保護のための外部メカニズムの導入

- OHADA (アフリカ・ビジネス法調和化機構) への加入
- ACA (アフリカ保険機関) への加入
- コンゴ民主共和国のSADC (南部アフリカ開発共同体) 財政・投資に関する議定書への加入
- CIRD (投資関連紛争処理国際センター) のメンバー国

出典：国家推進機関

コンゴ民主共和国概要

コンゴ民主共和国はアフリカ大陸の中心部に位置し、国土面積は234万5,410平方キロメートルでアルジェリアに次ぐ大陸第2の広さとなります。国境は9,165キロメートルに及び、中央アフリカ共和国、南スーダン、ルワンダ、ウガンダ、ブルンジ、タンザニア、アンゴラ、ザンビア、コンゴ共和国の近隣9ヶ国に接しています。

コンゴ民主共和国は、コンゴ川、複数の火山や湖といった天然資源に恵まれており、オカビ、ボノボ、ゴリラ、チンパンジーなどが生息する様々な熱帯林があります。



コンゴ民主共和国は豊かな経済的潜在力を持ち、それは実際の資源として大きな価値があります。この国はアフリカの熱帯林の47%、世界の熱帯地域の6%を占めています。世界中の研究者が注目する1,000種以上の森林樹木や、3T (錫、タンタル、タングステン) を含む1,100種もの希少鉱物が埋蔵されています。



貿易省

博覧会総合コミッショナー事務局
連絡先：+243 99 816 93 65



©Expo 2025

©2025 Democratic Republic of the Congo.
All rights reserved.
Democratic Republic of the Congo
holds the rights or permission for usage
of all material used.



COMMONS-D PAVILION

自然の生命力で
地球を救う
コンゴ民主共和国



©Expo 2025

コンゴ民主共和国、 課題解決国としての 2025年大阪・関西万博への参加

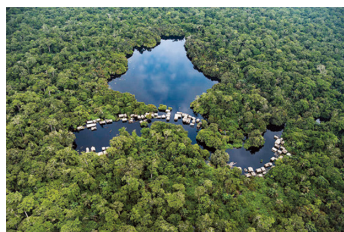
コンゴ民主共和国は、生命を救うというサブテーマのパビリオンCタイプの一員として2025年大阪・関西万博に参加します。

気候・保健・経済面で人類(社会)が取り組んでいる課題に直面し、コンゴ民主共和国は、生命を救う課題解決国家になる所存です。コンゴ民主共和国は、数多くの分野で我々全てが抱える未来の問題に対する「自然による対応」として、多数の解決策と機会を提供します。

以下の主たる4つの理由により、コンゴ民主共和国には、生命を救い、将来の社会のためにより良い未来を確保するための決め手があることが明らかです。

(i) 膨大な森林資源:コンゴ民主共和国は、地球温暖化から地球を保全するコンゴ盆地の大部分(森林の60%)、即ち、人類の未来と生態学上の地球の肺となる1億5千550万ヘクタールに上る赤道雨林を有しています。

この膨大な森林郡に加えて、10万1千500平方キロメートルの泥炭地及びマングローブ林があり、これらは推定年間15億トンのCO² [出典:中央アフリカ森林イニシアティブ2021]に相当する大気中の炭素を隔離・貯蔵する広大な地域となっています。これがなければ、地球温暖化は悪化するでしょう。



コンゴ民主共和国、 課題解決国としての 2025年大阪・関西万博への参加

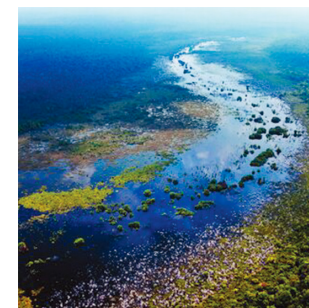
(ii) 豊富な淡水貯水量(地球上の10%及びアフリカの52%に相当する淡水):コンゴ民主共和国が保有する水は、アフリカ大陸とその他地域の需要を満たすことができ、食糧や液体水素等の生産に、また将来のエネルギー需要のために活用することができます。



(iii) コンゴ民主共和国は、アフリカでも比類ない8千万平方メートルの農地面積を含む格別な耕作可能地を有しており、国民の食糧需要を満たした上で、余剰分を世界中に輸出しています。



コンゴ民主共和国の泥炭地には30ギガトン以上の二酸化炭素が自然蓄積されており、これは世界の温室効果ガス排出量の2年分以上に相当します。コンゴ民主共和国は泥炭地の保全のために国際協力機構「JICA」の支援を受けています。



コンゴ民主共和国の森林は毎日約24.5ギガトンの温室効果ガスを吸収しています。森林の4分の3は国土面積の43%を占めています。



(iv) コンゴ民主共和国産のコバルト、リチウム(電池用)、コロombo・タンタライト(コルタン)、ゲルマニウムなどの戦略的鉱物は、電子産業や新たな情報通信技術の発展にとり極めて重要です。これらの戦略的鉱物はエネルギー転換の原動力になっています。

